

■葱善の始まり



葱善一代目 田中善太郎



葱善二代目 田中庸介



葱善三代目 田中久太郎



葱善四代目 田中庸浩

浅草葱善は、明治時代から約130年。4代にわたって続いている、浅草の老舗葱業者です。それ以前、江戸時代までは三河島(荒川区)の農家だったという記録が残っています。現在も菩提寺は三河島の観音寺にあります。

古くから江戸とともにあった一族で、幕末のころは、上野戦争の前に三河島を訪れた彰義隊を無償でもてなし、その後、上野戦争で敗れた彰義隊が落ちのびる際に、武具をもてなしの礼として置いていったという伝説が語り継がれています。

続く明治の文明開化以後、浅草では牛鍋(あぐらなべ)需要から牛鍋屋が増え、鍋の具として良質なネギが売れることから、農家から葱業者に転身。明治18年(1885年)初代、田中善太郎が浅草葱善を創業しました。

■葱善の歴史



明治から昭和の初期にかけては、良質なネギの栽培地だった千住から品質の良いネギを仕入れ、大八車で浅草まで運んでいました。

明治の頃にはすでに「千住からやってくる良いネギ」を「千住葱」と呼ぶ呼び方が定着していたそうです。

また浅草は牛鍋屋はもちろん、吉原や花柳界、料亭が多く、高級食材として葱善のネギはもてはやされ、葱善は浅草という土地に根付いていきました。浅草寺の玉垣にも、浅草葱善の名が刻まれています。また、天狗で有名な小田原の最乗寺(どうりゅうさま)の階段にもご縁があったようで、石段に名前が刻まれています。

戦中戦後は2代目、田中庸介が盛り立てました。この庸介氏のエピソードとして、昭和11年(1936年)に赤坂を訪れた際、二・二六事件を引き起こした青年将校の一団と遭遇し、銃剣を突き付けられたという、歴史の息吹を肌で感じられるような逸話も残っています。

戦後しばらくは、昭和14年から始まった価格等統制令により物資は配給のみとなり、葱業者としての活動を行えない時期もありましたが、昭和25年に統制令が撤廃されると、千住河原町に新設された「山柏青果物卸売市場」から仕入れるネギを中心に、再び浅草の千住葱を担う地元の葱業者として復活。

現在では葱問屋業だけにとどまらずに、ネギの生産販売もてがける葱業者として今日に至っています。



■江戸千住葱とは

現在、スーパーなどに出回るネギの多くは『F1種』という。

生産量や味の安定した種から栽培されたネギがほとんどです。

対して、葱善の生産販売する『江戸千住葱』は、江戸時代より伝わる伝統的な江戸野菜。

『千住系根深ネギ（長ネギ）』の『固定種(在来種)』の種を使用して、伝統の育成方法で栽培されています。

昔ながらの固定種の種から栽培されたネギは、癖のない味に『改良』されたF1種のネギにはない。

ネギ本来の強い香りや辛味。熱を通した際の甘みが強く、よりネギらしい味わいを堪能することができます。



■固定種(在来種)とは

農家が自身で栽培した作物から自家採種した種から育てる野菜を『固定種（在来種）』と言います。

江戸千住葱の栽培に使われる種は、江戸時代から代々、江戸のネギ農家で栽培され、品種改良されてきた伝統的な固定種を使用しています。当時は農家ごとに種の質と栽培方法は異なり、秘伝とされ、より良いネギを作るために切磋琢磨していました。種を他人に渡すくらいなら、炒ってから渡すという逸話が残っているほどです。

このように何世代もかけて、良いネギを求めて品種改良されてきた固定種の種と、それを育てるための栽培技術は磨かれ続けてきました。

しかし 30 年ほど前から「F1種 (First Filial Generation. 一代雑種・一代交配種)」と呼ばれる、人工的に交配された種が使用されることが多くなりました。生産者さんの意向を汲んで、耐病性や作りやすさを重視している為、残念ながら味わいを軽視されている傾向にあります。

F1種は固定種に比べて栽培が簡単で、生産性が高く、大きさも形も画一的で出荷に都合が良く、味も独特なクセを消してあるので食べやすい、ということもあります。

しかし、ちゃんと育つのは1代限り。購入した種のみ。二代目の種を採種して栽培しても、違うものができることもあります。

現在ではこの大量生産・大量消費に優れたF1種が市場を席卷し、代々受け継がれた固定種の種も、それを育てる高度な栽培技術も、急速に失われつつあります。

その点、江戸千住葱に使われている固定種は、味や風味は素晴らしいものの、栽培は難

しく、形も揃わず、天候によっては不作のリスクもあります。ですが、先祖代々受け継ぎ、自家採種を繰り返して栽培され「命のリレー」をしてきたこの種には、歴史と食文化。そして自然の味が凝縮されているといえます。

■各種メディア

【2017年】

テレビ東京 | 和風総本家

【2016年】

環境農業新聞

au TVCM | 三太郎シリーズ | au 学割「ネギ」篇

【2015年】

テレビ朝日 | 食材の王国

NHK | サラメシ

浅草経済新聞

【2014年】

寒い冬こそネギ！はなまるとネギ 17年の歴史

【2012年】

news every

ヒルナンデス！

【2011年】

はなまる ザ・ベスト 10 レシピ:はなまるマーケットのレシピ！

はなまるマーケット

【2010年】

クロワッサン 2010年5月25日号

【2009年】

ビジネスポータルアクシア

■各種PR

【2018年】

駒沢オリンピック公園内 第21回 Farmer's Market (駒沢公園)

まるごと朝市 (浅草)

熊本×東京ごはん教室 (浅草)

【2017年】

アグリビジネス創出フェア 2017 (東京ビックサイト)

浅草西の市PR販売 (浅草)

浅草葱善×和風カフェダイニング 畑々 コラボレーション企画 (浅草)

代々木公園 50周年イベント「代々木マルシェ」(代々木公園)

【2016年】

浅草西の市PR販売 (浅草)

【2015年】

浅草西の市PR販売 (浅草)

浅草雪祭り 浅草×山形 (浅草)

■奉納

*平成21年より毎年葱善三代目の命日である2月13日に江戸千住葱を浅草神社にて奉納を始め、五穀豊穰、商売繁盛を祈願している。

*平成28年より明治神宮にて東京で栽培した江戸千住葱を奉納。

■食育授業

*平成25年より食育の授業の一環として台東区立千束小学校が江戸千住葱の栽培

*平成25年より食育の授業の一環として台東区立金龍小学校が校内の畑で江戸千住葱の栽培

*平成24年より食育の授業の一環として台東区立蔵前小学校が蔵前公園の畑で江戸千住葱の栽培

*平成27年より食育の授業の一環として江東区立砂町中学が江戸千住葱の栽培

*平成28年より食育の授業の一環として文京区立籠町小学校が江戸千住葱の栽培